

今回のテーマは「スプレー缶・カセットボンベの出し方」

今の時季、家で鍋料理をするなどカセットボンベを使う機会が増えているかもしれません。今回は、正しく捨てられないことにより、ごみ収集車の火災の主な原因になっているスプレー缶・カセットボンベの出し方を紹介。火災事故を防ぐためにも、正しい分別をお願いします。

スプレー缶・カセットボンベは…

整髪料や消臭スプレー、塗料、ガラスクリーナーなどに使われています。

出し方

中身を使い切って、穴を開けずに透明または半透明の袋に入れ、ごみステーションに出します。回収日は「燃やせるごみ」と同じ曜日です。



注意

火災の原因になるため、黄色い指定ごみ袋には絶対に入れないでください

中身は安全な場所で使い切ってください

スプレー缶は、商品に記載されている説明を必ず読んで、中身を完全に使い切ってからガス抜きキャップを使用するか、ない場合はボタンを押して完全にガスを抜いてください。

注意

必ず火気のない風通しの良い屋外で作業してください。屋内だと、近くの火気や静電気で引火することがあり、大変危険です

中身を使い切れないものは引き取りをしています

清掃事務所や消防署（出張所）、地区リサイクルセンターに持ち込んでください。

※火災出動などで消防署（出張所）の職員が不在の場合は持ち込めません

※事業所から排出されるものは持ち込めません



生活に欠かせないごみの分別や資源化の方法などを紹介します。

詳細 循環型社会推進課 ☎211-2912

ごみ分別アプリでも出し方や収集日を確認

右記コードからダウンロードできます。



アイフォン
<iPhone版>
iOS 12.0以上



アンドロイド
<Android版>
OS 5.0以上

正しく分別をしないとどうなるの？



▲市内で発生したごみ収集車の火災事故

ごみ収集車の火災の原因になります

スプレー缶やカセットボンベなどに残っていたガスが原因で、複数の火災事故が発生しています。中身を使い切らない、指定ごみ袋に入れるなど間違った出し方をすると、ごみ収集車で他のごみと一緒に押しつぶされて漏れたガスが原因で、火災になる恐れがあります。また、ごみ処理施設でも火災の危険があります。

家庭での取り扱いにもご注意を

スプレー缶・カセットボンベは、ストーブやカセットこんろの周囲など、火気の近くや高温になる場所に置かないでください。

加熱されて爆発する危険があります



広告